長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新政治・経済」（清水書院）						
副教材等	テーマ別資料　政治・経済（東京法令出版） 高等学校　新政治経済　新訂版　ワークノート（清水書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代におけ経済的な諸問題を経済という視点から学び、その解決策を自ら考える。
・現代における経済的な諸問題について、国際的な視野や歴史的な観点を持つ。
・世界や日本で起こっている現代の諸問題を踏まえ、将来の日本のあるべき姿を考えてみる。

２ 学習の到達目標

・新聞やニュースに関心をもち、公民的な思考力を培う。
・国際的な視野と歴史的観点から、現代の諸問題を考察することができる力を培う。
・経済的な諸問題を歴史とも関連付けながら理解し、国際的な視野をもって、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本を中心とする現代の諸問題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代の諸問題を歴史的観点から考察し、国際的な視野をもって公正に判断して、その背景や結果、その解決策を適切に表現している。	日本を中心とする現代の諸問題に関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本を中心とする現代の諸問題について、基本的な事柄をその歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	経済活動の意義	・最近の新聞記事を読む ・経済活動を知る	○	○	○	○	a:日本を中心とした経済問題について、国際社会とのつながりを意欲的に考察し、経済問題への関心を高めようとしている。 b:設定された経済問題について、多面的に考察し、その背景や結果を適切に表現している。 c:設定された経済問題について、読み取り、まとめたりしている。 d:設定された主題について、身近な例と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	経済社会の変容と経済思想	・資本主義社会の特徴とその理論 ・社会主義経済の特徴とその理論	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:資本主義経済の発展と社会主義経済の成立の歴史から、その特徴や背景を多角的に考察し、その背景や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:資本主義経済と社会主義経済の形成における歴史的な背景を理解し、理論的な知識を身に付けている。	ワークシート
	現代の経済社会と経済思想	・第二次世界大戦後の経済と課題 ・21 世紀の経済	○	○	○	○ ○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 B 第二次世界大戦後の経済史から、その特徴や背景を多角的に考察し、その背景や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:戦後経済の歴史的な背景を理解し、現代の経済に関する理論的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	三つの経済主体と経済循環	・家計・企業・政府の役割	○	○	○	○	a:経済主体の関心を高めようとしている。 b:経済主体の特徴を身近な例と結びつけ、その役割を適切に表現している。 c:必要な諸情報を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:経済主体と政府の役割を理解し、経済に関する理論的な知識を身に付けている。	ワークシート

1学期	価格と市場の役割・市場の限界	・アダムスミスの理論と市場経済の働き ・市場経済の限界	○	○	○	○	a:市場経済の成立とその歴史、及びその働きについて、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:市場経済の特質を発見し、今日の経済活動と関連付けて、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:市場経済に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:市場経済の理論やその課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	現代の企業と物価変動	・株式会社の仕組み ・物価変動	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:株式会社の特徴を身近な例と結びつけ、その仕組みを適切に表現している。 c:必要な諸情報を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:株式会社や物価変動の理論やその課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	経済成長と景気変動	経済成長とその要因 ・景気変動	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:景気変動や経済成長を多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:景気変動や経済成長などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取り、図表などにまとめたりしている。 d:景気変動や経済成長などに関する基本的な事柄を、日本経済の現状などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
	貨幣の役割と金融・金融政策	・金融の理論とその働き ・通貨制度と中央銀行の働き ・金融政策の働き	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:金融、通貨制度、中央銀行、金融政策を多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:金融や通貨制度、金融政策の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:金融、通貨制度、中央銀行、金融政策の基本的な事柄を、日本経済の現状などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	政府の財政的役割	・財政の働き ・財政政策の働き ・日本の財政の課題	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:財政、財政政策を多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:財政、財政政策などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:財政、財政政策などに関する基本的な事柄を、日本経済の現状などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	金融環境の変化と自由化	・金融の自由化 ・自由化と自己責任	○	○	○	○	a:最近の新聞記事やニュースに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:金融の自由化を多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:自由化に関する基本的な事柄を、世界的な流れと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後の日本経済歴史 ・公害・環境問題 ・労働者の権利と労働組合の役割 ・社会保障制度の歩みと課題	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:戦後の日本経済の歩み、環境や労働問題、社会保障制度について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:戦後の日本経済の歩みや環境、労働問題、社会保障について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:戦後の日本経済、環境、労働問題、社会保障についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	現代社会の諸問題	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、日本経済を中心とする歴史と役割と結び付け、意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、日本経済を中心とする歴史と役割に結び付けて考察し、適切に表現している。 c:現代の諸課題を、日本経済を中心とする歴史と役割に結び付け、必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。